2024 年 6 月 14 日

各　位

株式会社北洋銀行

安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針 ～「お客さま本位」（フィデューシャリー・デューティー）の徹底 ～の改訂、成果指標（KPI）の変更および 2023 年度の取組状況・成果指標結果について

お客さま本位の業務運営をより一層推進するため、2017 年 6 月 9 日に策定した『安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針～「お客さま本位」（フィデューシャリー・デューティー※）の徹底～』（以下、本方針）の内容の一部改訂、当行選定の成果指標（KPI）の変更を行うとともに、2023 年度の取組状況・成果指標（KPI）の結果をお知らせいたします。

引続き、本方針に基づく「行動計画」および「具体的取組」を実践することでお客さま本位を徹底し、お客さまの安定的な資産形成・資産承継を実現してまいります。

※フィデューシャリー・デューティーとは、お客さまのニーズを正確に捉え、適切な説明や情報提供を実施し、お客さまの意向や利益に真に適う金融商品やサービスを提供することをいいます。

【2023 年度までの当行選定成果指標（KPI）】　※今回公表分まで

① 投資信託販売額上位 10 商品および投資対象別販売構成比
② 投資信託商品ラインアップ状況
③ 保険商品ラインアップ状況
④ 預り資産残高（一時払保険・投資信託・金融商品仲介）
⑤ 投信積立期中振替金額およびご契約者の年齢層別口座数
⑥ NISA 口座数推移および稼動口座の年齢層
⑦ FP 技能士資格取得者数および取得率
⑧ 投資信託販売額の毎月分配型とそれ以外の販売比率
⑨ お客さま向けセミナー開催状況

【2024 年度からの当行選定成果指標（KPI）】　※2025 年 6 月公表分より

① 投資信託販売額上位 10 商品および販売割合
② 投資信託商品ラインアップ状況
③ 保険商品ラインアップ状況
④ グループ預かり資産残高（投信・仲介・公共債+北洋証券預かり残高）
⑤ 投信積立期中振替金額
⑥ NISA 口座数および NISA 利用残高
⑦ FP 技能士資格取得者数（2 級 FP 技能士以上）
⑧ 投信信託平均保有年数
⑨ お客さま向けセミナー開催状況

【金融庁公表の投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通 KPI】

① 投資信託・ファンドラップの運用損益別顧客比率
② 投資信託の預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン
③ 投資信託の預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン
④ 外貨建保険の運用損益別顧客比率
⑤ 外貨建保険残高上位 20 銘柄のコスト・リターン

※金融庁公表の投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通 KPI に変更はありません。

※改訂後の取組方針は[こちら]をご覧ください。
※2023 年度の取組状況・成果指標（KPI）の結果は以下の通りです。

以　上

＜2023 年度の取組状況概要＞

取組方針１：お客さま本位に徹したコンサルティングの実践

・新しい NISA 制度に対応した商品の導入、プロモーションを強化しました。

・投資信託商品ラインアップを見直し、銀行は「長期・積立・分散投資での資産形成に適したファンド」「低コストかつ長期実績のあるファンド」を取り揃えました。

取組方針２：お客さまの利益を第一とした管理体制の強化

・お客さまの利益を害することのないよう、商品の取扱いの検討・確認をしています。

取組方針３：手数料の分かりやすい説明

・手数料を「重要情報シート」や「商品カテゴリ横断シート」にて説明しています。

取組方針４：重要な情報の分かりやすい提供

・情報提案資料や提案ツールを使用し、最適なポートフォリオ提案を行っています。

・Instagram など SNS を活用し、投資初心者の方などへの情報発信を行いました。

取組方針５：お客さまに寄りそったサービスの提供

・お取引先の役職員の皆さまへの資産形成サポートを行いました。

・外貨建保険・変額保険をお持ちのお客さまへのフォローを実施しています。

取組方針６：お客さま本位を実践するための体制構築

・定性面評価にて「模範となる取組をしている営業店」を表彰する評価としています。

＜2023 年度の当行選定成果指標（KPI）の状況＞

当行選定 KPI の状況は以下の通りです。金融庁設定共通 KPI は取組状況をご覧ください。

	成果指標（KPI）項目	2022年度	**2023年度**	**増減**
当行選定KPI	投信販売額上位10商品	国内株式2 海外ﾊﾞﾗﾝｽ2 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ株式2 国内REIT1 海外REIT1 先進国株式1 新興国株式1	**国内株式3** **ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ株式2** **国内REIT1** **海外REIT1** **先進国株式3**	**-**
	投信商品ﾗｲﾝｱｯﾌﾟ	147商品	**153商品**	**+6商品**
	保険商品ﾗｲﾝｱｯﾌﾟ	48商品	**54商品**	**+6商品**
	預り資産残高	9,752億円	**10,186億円**	**+434億円**
	投信積立振替金額･口座数	11,368百万円	**13,136百万円**	**+1,768百万円**
		54,836口座	**61,091口座**	**+6,255口座**
	NISA口座数	65,252口座	**72,323口座**	**+7,071口座**
	FP資格取得率	91.5%	**94.0%**	**+2.5pt**
	投信販売の毎月分配型比率	20.6%	**9.9%**	**-10.7pt**
	お客さまｾﾐﾅｰ開催状況	78回	**職域セミナー･座談会** **2,123回** **営業店と連携した** **大規模セミナー** **7回**	**-**

以　上

「安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針」に基づく取組状況・成果指標（KPI）の状況（2023年度）

2024年6月

北洋銀行

はじめに

北洋銀行は、2017年6月9日に『安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針～「お客さま本位」（フィデューシャリー・デューティー※）の徹底～』（FD方針）を策定し、6つの取組方針に基づき具体的な取組を実践してまいりました。

2023年度の各取組方針に係る取組状況を成果指標（KPI）および金融庁の定める比較可能な共通KPIの結果とともにご報告いたします。

【取組方針１】 お客さま本位に徹したコンサルティングの実践
【取組方針２】 お客さまの利益を第一とした管理体制の強化
【取組方針３】 手数料の分かりやすい説明
【取組方針４】 重要な情報の分かりやすい提供
【取組方針５】 お客さまに寄りそったサービスの提供
【取組方針６】 お客さま本位を実践するための体制構築

※フィデューシャリー・デューティーとは、お客さまのニーズを正確に捉え、適切な説明や情報提供を実施し、お客さまの意向や利益に真に適う金融商品やサービスを提供することをいいます。

なお、金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」（以下、「金融庁原則」）との対応状況は各頁右上に記載しております。

目次

2023年度の取組状況概要および当行選定成果指標（KPI）の状況 ・・・・・・ P3～4

【取組方針1】 お客さま本位に徹したコンサルティングの実践 ・・・・・・ P5～17

＜KPI①＞ 投資信託販売額上位10商品および投資対象別販売構成比 P5～P6

＜KPI②＞ 投資信託商品ラインアップ状況 P7

＜KPI③＞ 保険商品ラインアップ状況 P9

＜KPI④＞ 預り資産残高（一時払保険・投資信託・金融商品仲介） P11

＜KPI⑤＞ 投信積立 期中振替金額およびご契約者の年齢層別口座数 P12

＜KPI⑥＞ NISA口座数推移および稼働口座の年齢層 P13

＜KPI⑦＞ FP技能士資格取得者数および取得率 P15

＜KPI⑧＞ 投資信託販売額の毎月分配型とそれ以外の販売比率 P16

【取組方針2】 お客さまの利益を第一とした管理体制の強化 ・・・・・・ P18

【取組方針3】 手数料の分かりやすい説明 ・・・・・・ P19～P20

【取組方針4】 重要な情報の分かりやすい提供 ・・・・・・ P19～P21

【取組方針5】 お客さまに寄りそったサービスの提供 ・・・・・・ P23～P29

＜KPI⑨＞ お客さまセミナー開催状況 P24

【取組方針6】 お客さま本位を実践するための体制構築 ・・・・・・ P30～P31

【投資信託・ファンドラップ・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI】 ・・・・・・ P32～P38

＜共通KPI①＞ 投資信託・ファンドラップにおける運用損益別顧客比率 P32～P33

＜共通KPI②③＞ 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン、リスク・リターン P34～P35

＜共通KPI④＞ 外貨建保険における運用損益別顧客比率 P36

＜共通KPI⑤＞ 外貨建保険残高上位20銘柄のコスト・リターン P37～P38

＜2023年度の取組状況概要＞

【取組方針１】 お客さま本位に徹したコンサルティングの実践

・新しいNISA制度に対応した商品の導入、プロモーションを強化しました。

・投資信託商品ラインアップを見直し、銀行は「長期・積立・分散投資での資産形成に適したファンド」「低コストかつ長期実績のあるファンド」を取り揃えました。

【取組方針２】 お客さまの利益を第一とした管理体制の強化

・お客さまの利益を害することのないよう、商品の取扱いの検討・確認をしています。

【取組方針３】 手数料の分かりやすい説明

・手数料を「重要情報シート」や「商品カテゴリ横断シート」にて説明しています。

【取組方針４】 重要な情報の分かりやすい提供

・情報提案資料や提案ツールを使用し、最適なポートフォリオ提案を行っています。

・InstagramなどSNSを活用し、投資初心者の方などへの情報発信を行いました。

【取組方針５】 お客さまに寄りそったサービスの提供

・お取引先の役職員の皆さまへの資産形成サポートを行いました。

・外貨建保険・変額保険をお持ちのお客さまへのフォローを実施しています。

【取組方針６】 お客さま本位を実践するための体制構築

・定性面評価にて「模範となる取組をしている営業店」を表彰する評価としています。

＜2023年度の当行選定成果指標（KPI）の状況＞

当行選定KPIの状況は以下の通りです。金融庁設定共通KPIはP32～P38をご覧ください。

成果指標（KPI）項目		2022年度	**2023年度**	**増減**
当行選定KPI	投信販売額上位10商品	国内株式2 海外ﾊﾞﾗﾝｽ2 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ株式2 国内REIT1 海外REIT1 先進国株式1 新興国株式1	**国内株式3** **ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ株式2** **国内REIT1** **海外REIT1** **先進国株式3**	**-**
	投信商品ﾗｲﾝｱｯﾌﾟ	147商品	**153商品**	**+6商品**
	保険商品ﾗｲﾝｱｯﾌﾟ	48商品	**54商品**	**+6商品**
	預り資産残高	9,752億円	**10,186億円**	**+434億円**
	投信積立振替金額・口座数	11,368百万円	**13,136百万円**	**+1,768百万円**
		54,836口座	**61,091口座**	**+6,255口座**
	NISA口座数	65,252口座	**72,323口座**	**+7,071口座**
	FP資格取得率	91.5%	**94.0%**	**+2.5pt**
	投信販売の毎月分配型比率	20.6%	**9.9%**	**-10.7pt**
	お客さまｾﾐﾅｰ開催状況	78回	**職域セミナー・座談会** **2,123回** **営業店と連携した** **大規模セミナー** **7回**	**-**

取組方針1　お客さま本位に徹したコンサルティングの実践

金融庁原則2・2（注）に対応

KPI指標①：投資信託販売額上位10商品および投資対象別販売構成比

2023年度は、米国の良好な経済状況やコロナ禍からの正常化による国内景気の緩やかな回復等により世界的に株価が上昇、株式やREITを投資対象とする銘柄が上位となりました。 なお、商品別販売割合には大きな偏りはなく分散されております。

＜投資信託販売額上位10商品＞

■2022年度（2022/4～2023/3）

順位	商品	投信会社名	投資対象	構成比
1	野村ｲﾝﾃﾞｯｸｽﾌｧﾝﾄﾞ・日経225	野村ｱｾｯﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	国内株式	20.6%
2	日経225ノーロードオープン	ｱｾｯﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄOne	国内株式	12.1%
3	新光US－REITオープン	ｱｾｯﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄOne	海外REIT	12.1%
4	iFree S&P500インデックス	大和ｱｾｯﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	先進国株式	3.6%
5	ウォルター・スコット優良成長企業ファンド（資産成長型）	大和ｱｾｯﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	グローバル株式	3.5%
6	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙESGﾊﾞﾗﾝｽﾌｧﾝﾄﾞ（為替ﾍｯｼﾞなし）年2回決算型	野村ｱｾｯﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	海外バランス	3.3%
7	netWIN GSﾃｸﾉﾛｼﾞｰ株式ﾌｧﾝﾄﾞBｺｰｽ（為替ﾍｯｼﾞなし）	ｺﾞｰﾙﾄﾞﾏﾝ・ｻｯｸｽ・ｱｾｯﾄ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	グローバル株式	3.0%
8	財産3分法ﾌｧﾝﾄﾞ（不動産・債券・株式）毎月分配型	日興ｱｾｯﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	海外バランス	3.0%
9	MHAM J-REIT ｲﾝﾃﾞｯｸｽﾌｧﾝﾄﾞ毎月決算型	ｱｾｯﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄOne	国内REIT	2.9%
10	パインブリッジ厳選インド株式ファンド	ﾊﾟｲﾝﾌﾞﾘｯｼﾞ・ｲﾝﾍﾞｽﾄﾒﾝﾂ	新興国株式	2.7%

■2023年度（2023/4～2024/3）【投信積立を除く店頭・ネット取扱い分合計】

順位	商品	投信会社名	投資対象	構成比
1	野村ｲﾝﾃﾞｯｸｽﾌｧﾝﾄﾞ・日経225	野村ｱｾｯﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	国内株式	30.8%
2	日経225ノーロードオープン	ｱｾｯﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄOne	国内株式	15.5%
3	新光US－REITオープン	ｱｾｯﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄOne	海外REIT	6.6%
4	iFree S&P500インデックス	大和ｱｾｯﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	先進国株式	6.3%
5	ウォルター・スコット優良成長企業ファンド（資産成長型）	大和ｱｾｯﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	グローバル株式	5.7%
6	netWIN GSﾃｸﾉﾛｼﾞｰ株式ﾌｧﾝﾄﾞBｺｰｽ（為替ﾍｯｼﾞなし）	ｺﾞｰﾙﾄﾞﾏﾝ・ｻｯｸｽ・ｱｾｯﾄ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	グローバル株式	3.1%
7	株式インデックス225	野村ｱｾｯﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	国内株式	2.6%
8	パインブリッジ厳選インド株式ファンド	ﾊﾟｲﾝﾌﾞﾘｯｼﾞ・ｲﾝﾍﾞｽﾄﾒﾝﾂ	先進国株式	2.3%
9	MHAM J-REIT ｲﾝﾃﾞｯｸｽﾌｧﾝﾄﾞ毎月決算型	ｱｾｯﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄOne	国内REIT	1.8%
10	米国連続増配成長株オープン	SBI岡三ｱｾｯﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	先進国株式	1.4%

取組方針1　お客さま本位に徹したコンサルティングの実践

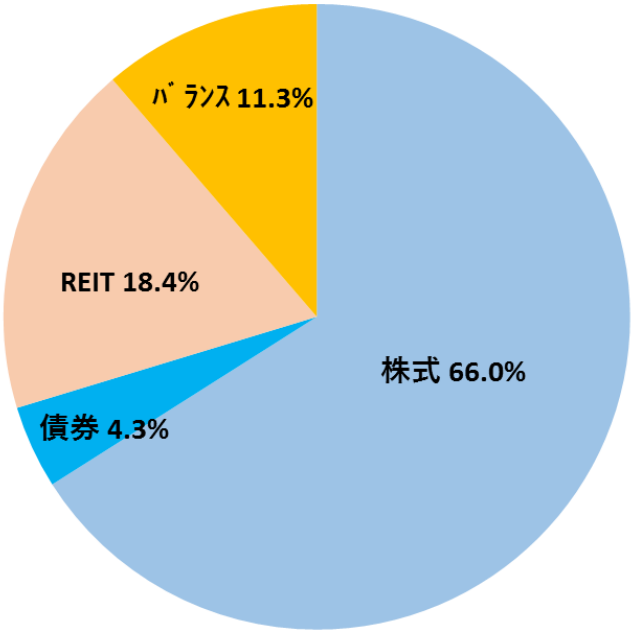
金融庁原則2・2（注）に対応

KPI指標①：投資信託販売額上位10商品および投資対象別販売構成比

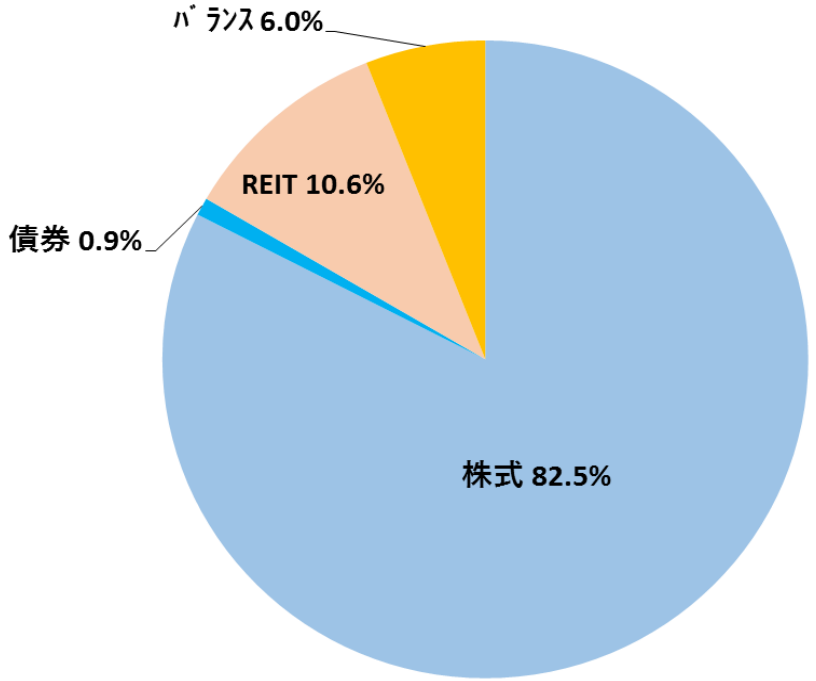
2023年度は、世界的な株価変動や米国の大幅利上げおよび利上げ終息観測等の影響から、株式ファンドの販売割合がさらに増加。全体の約83%を占めました。

＜投資対象別販売構成比＞

■2022年度（2022/4～2023/3）



■2023年度（2023/4～2024/3）　【投信積立を除く店頭・ネット取扱い分合計】



取組方針1　お客さま本位に徹したコンサルティングの実践

金融庁原則2・2（注）に対応

KPI指標②：投資信託商品ラインアップ状況

お客さまの多様なニーズにお応えするため、様々なカテゴリの商品を幅広くラインアップしております。
投資信託の商品数は新NISAに対応した商品の導入等定期的に見直しを行った結果、前年比6商品増加しました。
引き続き、お客さまのニーズやマーケット環境、商品のパフォーマンス等を勘案し、商品の入れ替えや削減を含めた見直しを行ってまいります。

＜投資信託商品ラインアップ状況＞（2023/3末）

商品ｶﾃｺﾞﾘ		取扱商品数	構成比	うちｺｱﾌｧﾝﾄﾞ商品数	うちｲﾝﾀｰﾈｯﾄ専用商品数	構成比
株式		64	43.5%	1	19	36.5%
	国内株式	17	11.6%	1	7	13.5%
	先進国株式	17	11.6%		8	15.4%
	新興国株式	8	5.4%		3	5.8%
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ株式	22	15.0%		1	1.9%
債券		42	28.6%	7	18	34.6%
	国内債券	5	3.4%	1	3	5.8%
	先進国債券	18	12.2%	2	7	13.5%
	新興国債券	8	5.4%		4	7.7%
	ﾊｲｲｰﾙﾄﾞ債券	3	2.0%			0.0%
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ債券	8	5.4%	4	4	7.7%
REIT		16	10.9%	0	7	13.5%
	国内REIT	3	2.0%		1	1.9%
	海外REIT	9	6.1%		4	7.7%
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT	4	2.7%		2	3.8%
ﾊﾞﾗﾝｽ		25	17.0%	6	8	15.4%
	国内ﾊﾞﾗﾝｽ	1	0.7%	1		0.0%
	海外ﾊﾞﾗﾝｽ	24	16.3%	5	8	15.4%
合計		147	100.0%	14	52	100.0%

＜投資信託商品ラインアップ状況＞（2024/3末）

商品ｶﾃｺﾞﾘ		取扱商品数	構成比	うちｺｱﾌｧﾝﾄﾞ商品数	うちｲﾝﾀｰﾈｯﾄ専用商品数	構成比
株式		70	45.8%	1	33	40.2%
	国内株式	18	11.8%	1	8	9.8%
	先進国株式	20	13.1%		13	15.9%
	新興国株式	8	5.2%		4	4.9%
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ株式	24	15.7%		8	9.8%
債券		38	24.8%	7	29	35.4%
	国内債券	5	3.3%	1	5	6.1%
	先進国債券	14	9.2%	2	10	12.2%
	新興国債券	8	5.2%		8	9.8%
	ﾊｲｲｰﾙﾄﾞ債券	3	2.0%		2	2.4%
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ債券	8	5.2%	4	4	4.9%
REIT		12	7.8%	0	5	6.1%
	国内REIT	3	2.0%		1	1.2%
	海外REIT	5	3.3%			0.0%
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT	4	2.6%		4	4.9%
ﾊﾞﾗﾝｽ		33	21.6%	6	15	18.3%
	国内ﾊﾞﾗﾝｽ	1	0.7%	1		0.0%
	海外ﾊﾞﾗﾝｽ	32	20.9%	5	15	18.3%
合計		153	100.0%	14	82	100.0%

取組方針1　お客さま本位に徹したコンサルティングの実践

金融庁原則2・2（注）に対応

投資信託商品ラインアップの見直しについて

北洋銀行では2023年4月より投資信託の商品ラインアップの大幅な見直しを行いました。
銀行ではNISAを利用される「投資初心者や資産形成層」を中心として、「長期・積立・分散投資で資産形成を行うことに適したファンド」「低コスト（販売手数料・信託報酬）かつ長期の運用実績のあるファンド」を取り揃えることいたしました。

2024年1月から大幅に改正されたNISA制度に対応するため、2024年2月からNISA成長投資枠対象6商品を導入しました。今後も銀行においてはNISA枠対象商品を中心に、「長期・積立・分散投資」に適したファンドのラインアップを充実させてまいります。

なお、銀行にて取扱いのない商品については、グループ証券会社である北洋証券をご紹介させていただき、お客さまのニーズに幅広く対応してまいります。

取組方針1　お客さま本位に徹したコンサルティングの実践

金融庁原則2・2（注）に対応

KPI指標③：保険商品ラインアップ状況

「人生100年時代」や「2025年問題（団塊世代の後期高齢化）」への備えとして、保険機能を活用した相続提案を行う商品や、全国的に見てもがんの罹患率が高い北海道において「がんの保障」が充実した商品などラインアップの見直しを行っております。前年と比べ6商品増加しました。

＜保険商品ラインアップ状況＞（2023/3末）
※ほけんプラザを除く

商品ｶﾃｺﾞﾘ		店頭取扱商品数	
		商品数	構成比
一時払商品	**円建**	**12**	**40.0%**
	定額個人年金	3	10.0%
	終身保険	9	30.0%
	外貨建	**18**	**60.0%**
	変額個人年金	1	3.3%
	定額個人年金	3	10.0%
	終身保険	14	46.7%
	養老保険	0	0.0%
	合計	**30**	**100.0%**

うち手数料開示商品※	27	90.0%

商品ｶﾃｺﾞﾘ		店頭取扱商品数	
		商品数	構成比
平準払商品	個人年金保険・学資	4	22.2%
	終身保険	3	16.7%
	医療・がん保険	6	33.3%
	介護・収入保障保険・定期	5	27.8%
	合計	**18**	**100.0%**

うち手数料開示商品※	3	16.7%

※　外貨建保険、変額保険、市場価格調整機能を備えた保険など、市場ﾘｽｸを有する商品（2016年10月より開示）。

＜保険商品ラインアップ状況＞（2024/3末）
※ほけんプラザを除く

商品ｶﾃｺﾞﾘ		店頭取扱商品数	
		商品数	構成比
一時払商品	**円建**	**15**	**45.5%**
	定額個人年金	4	12.1%
	終身保険	11	33.3%
	外貨建	**18**	**54.5%**
	変額個人年金	1	3.0%
	定額個人年金	3	9.1%
	終身保険	14	42.4%
	養老保険	0	0.0%
	合計	**33**	**100.0%**

うち手数料開示商品※	29	87.9%

商品ｶﾃｺﾞﾘ		店頭取扱商品数	
		商品数	構成比
平準払商品	個人年金保険・学資	5	23.8%
	終身保険	3	14.3%
	医療・がん保険	8	38.1%
	介護・収入保障保険・定期	5	23.8%
	合計	**21**	**100.0%**

うち手数料開示商品※	4	19.0%

※　外貨建保険、変額保険、市場価格調整機能を備えた保険など、市場ﾘｽｸを有する商品（2016年10月より開示）。

取組方針1　お客さま本位に徹したコンサルティングの実践

金融庁原則2・2（注）に対応

非対面による保険提案（WEB保険・保険コールセンター）

ご来店が難しいお客さまには、ホームページから医療保険・がん保険をお申込いただけます。時間を気にせず24時間いつでもお申込みが可能です。

また、保険コールセンターにおいて、非対面（電話）による医療保険・がん保険・終身保険のご提案を行っております。お客さまの保障ニーズに幅広く対応できるよう8商品をラインアップしております。

■WEB保険

■保険コールセンター

カテゴリ		商品名	保険会社
医療	1	医療保険 EVERシンプル	アフラック
	2	なないろメディカル 礎	なないろ生命
	3	なないろメディカル スーパーワイド	
がん	4	生きるためのがん保険 Days1 ※がん治療保障特約[2022]を付加した場合、「生きる」を創るがん保険WINGSとなります	アフラック
	5	生きるためのがん保険 Days1プラス	
	6	なないろがん一時金保険	なないろ生命
終身	7	終身保険RISE	オリックス生命
	8	ライズ・サポート・プラス ※保険料建のお申込みの取扱いは保険CCのみとなります。	

取組方針1　お客さま本位に徹したコンサルティングの実践

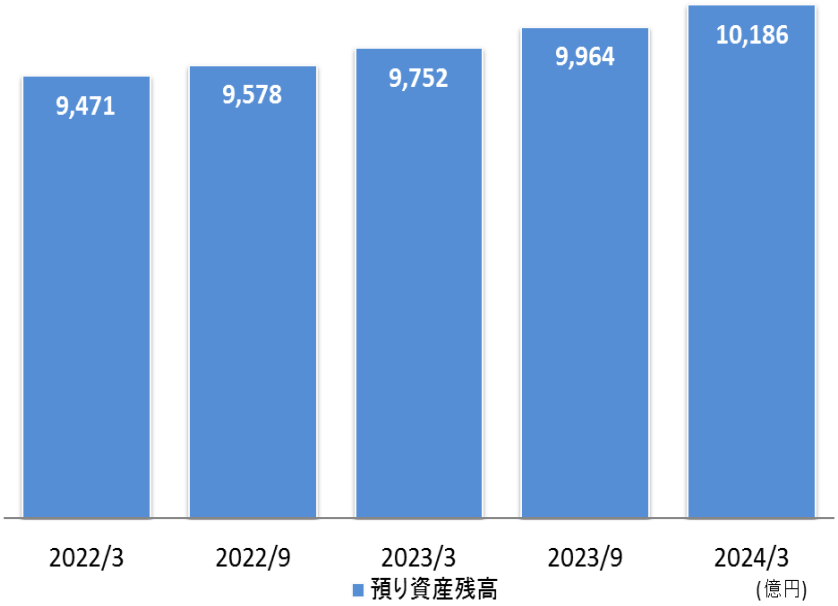
金融庁原則2・2（注）に対応

KPI指標④：預り資産残高

「北洋ライフプランガイド」などの資料やご提案ツールを活用し、お客さまの長期的・安定的な資産運用の必要性をご説明しております。 預り資産残高は2023年3月より434億円増加しております。

※投資信託・金融商品仲介は時価、一時払保険は販売累計額により集計。

＜預り資産残高（一時払保険、投資信託、金融商品仲介）＞



※投資信託・金融商品仲介は時価により集計しています。
※一時払保険は販売額累計額により集計しています。

■北洋ライフプランガイド

取組方針1　お客さま本位に徹したコンサルティングの実践

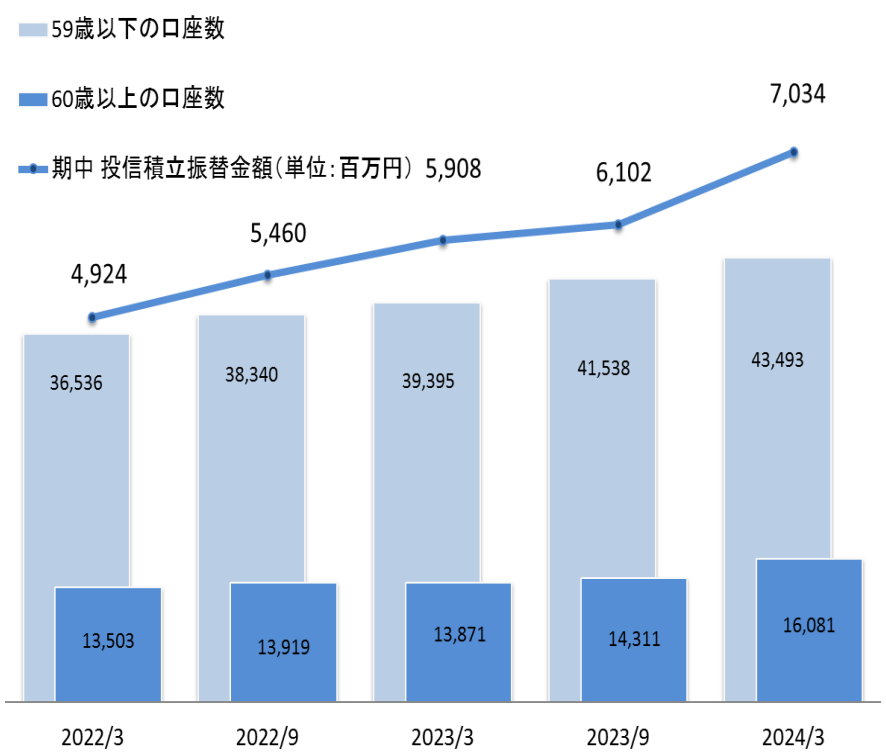
金融庁原則2・2（注）に対応

KPI指標⑤：投信積立　期中振替金額およびご契約者の年齢層別口座数

お客さまの夢の実現のために長期・積立・分散の活用をご紹介する「つみ活ガイド」を活用し、お客さまのライフプランを伺い、「つみ活（※）」のご提案を通じたコンサルティングを行っています。

投信積立の振替額および口座数はともに増加しております。年間の振替額は前年比約18億円増加しました。また、年代を問わず口座数が増加しております。 ※当行では、積立による資産形成のことを「つみ活」と呼んでいます。

＜投資信託期中振替金額およびご契約者の年齢層別口座数＞



■北洋つみ活ガイド

投信積立のほか、生命保険、iDeCo、積立定期を活用した「つみ活」をご紹介しております。

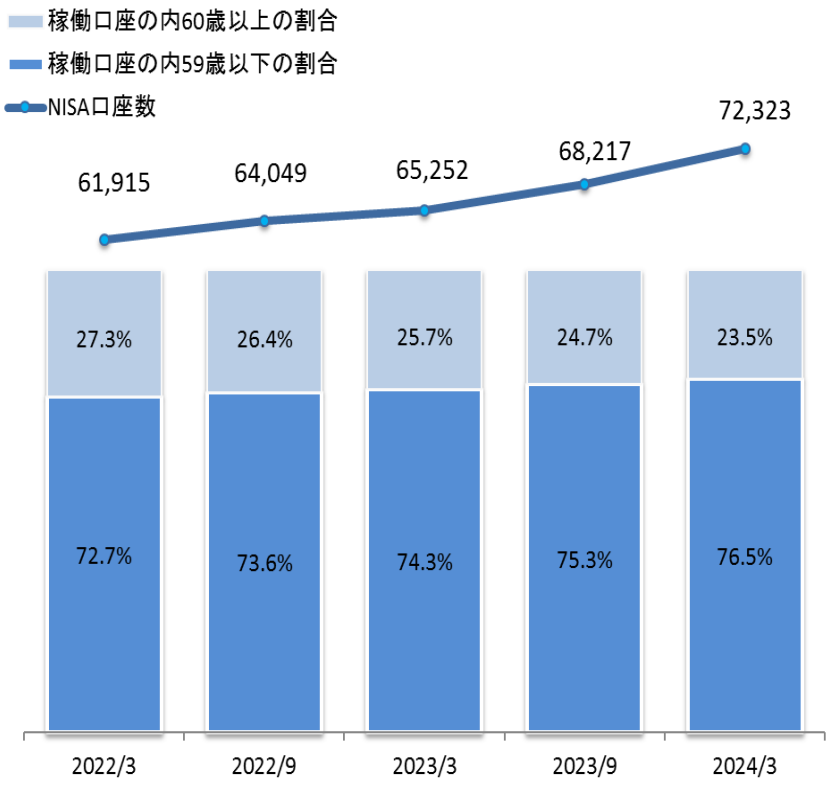
取組方針1　お客さま本位に徹したコンサルティングの実践

金融庁原則2・2（注）に対応

KPI指標⑥：NISA口座数推移および稼働口座の年齢層

2024年に大幅に制度改正となった少額投資非課税制度（NISA等）の普及促進のため、NISA口座開設キャンペーンを実施しました。
2024年3月末のNISA口座は72,323口座となり前年比7,071口座増加しました。

＜NISA口座数推移および稼働口座の年齢層＞



■NISA口座開設キャンペーン（第2弾）

取組方針1　お客さま本位に徹したコンサルティングの実践

金融庁原則2・2（注）に対応

営業店でのNISA普及に向けた取り組み

営業店において独自に専用ブースを設けたり、窓口を装飾するなど、ご来店されるお客さまにNISAを周知し、普及に向けた取り組みを実施しました。

■営業店におけるNISA啓蒙活動（NISAブースの設置や窓口での周知）

■NSAポスターの掲示

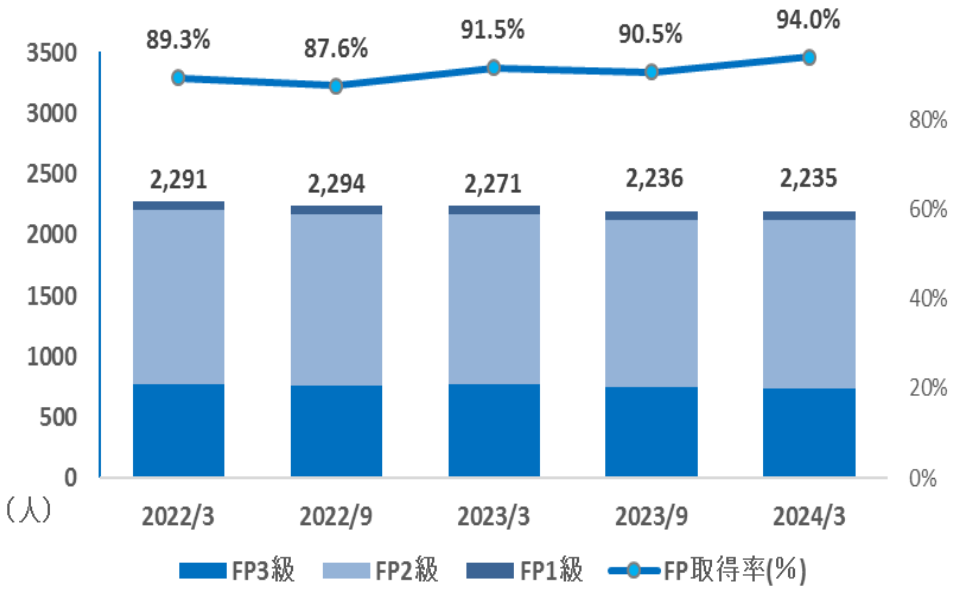
取組方針1　お客さま本位に徹したコンサルティングの実践

金融庁原則2・2（注）に対応
金融庁原則6（注5）に対応

KPI指標⑦：FP技能士資格取得者数および取得率

お客さまニーズに沿った最適な商品をご提案するため、全役職員に対し金融に関する資格（FP技能士等）の取得を推奨するなど、高度の専門性と職業倫理を有する金融のプロとしての自覚・意識醸成を図っております。
FP技能士資格取得率は前年比2.5ポイント増加しました。 引き続き、新規資格取得とともに上位級資格取得を促進してまいります。

＜FP技能士資格取得者数および取得率＞



※取得者数は従業員数（就業人員）に占める割合

FP技能士資格取得者数内訳（2024/3）

資格名	取得者数（人）
FP1級	70
FP2級	1,379
FP3級	741

※複数取得の場合は最上位資格とする

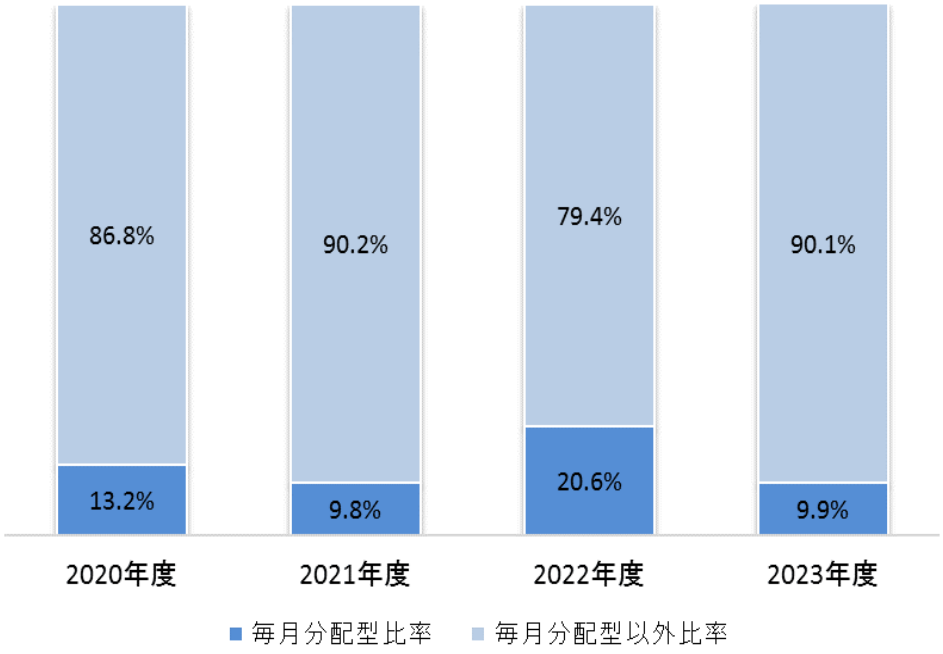
取組方針1　お客さま本位に徹したコンサルティングの実践

金融庁原則2-2（注）に対応

KPI指標⑧：投資信託販売額の毎月分配型とそれ以外の販売比率

引続き、投資信託ガイドなどを活用し、分配金の再投資について相場動向における毎月分配型と低頻度決算型との違いなど「投資信託の分配金」について詳しくご説明しております。
投資信託販売額の毎月分配型の販売比率は約10%と低位で推移しております。

＜投資信託販売額の毎月分配型とそれ以外の販売比率＞



※投信積立を除く

■北洋投資信託ガイド

取組方針1　お客さま本位に徹したコンサルティングの実践

金融庁原則2・2（注）に対応

お客さま会議

お客さまの状況（ご家族構成やライフプラン、資産状況等）をお伺いしたうえで、お客さまがお求めになっていることや、お客さまに必要なことを上席者や本部職員を含めたメンバーで事前に協議する「お客さま会議」を実施しています。

また、お客さま会議にて協議した内容についてご提案前にロールプレイングを実施（P28）し、現在のみならず、将来的にお客さまの最善の利益につながるよう、深度あるコンサルティングを実施してまいります。

【お客さま会議実施回数】（2023/4～2024/3）
約9,100回

お客さまを深く知り、最善の提案に展開するため組織的に考える場として実施

会議の中で既知の情報から解決策の検討

↓

不足する情報をお客さまへヒアリング
検討内容のロールプレイング実施

↓

潜在ニーズを喚起し深度あるコンサルを実施

取組方針2　お客さまの利益を第一とした管理体制の強化

金融庁原則3および3（注）に対応
金融庁原則6（注3）に対応

- お客さま向けの「金融商品の取扱い」に関する利益相反の状況を適切に把握・管理するために「利益相反管理マニュアル」を制定しています。その「利益相反管理マニュアル」に基づき、「利益相反管理統部門」（法務コンプライアンス部）において、商品・サービス等を最終的にご利用いただくお客さまの利益を害することがないよう検討・確認しております。

  ※2023年度の確認商品数　22商品（投資信託・保険・金融商品仲介）

- 当行は、引き続き利益相反の可能性について注意を要する、商品組成・商品運用会社（部門）は有しておりません。

- 当行で取扱いのない商品について、当行グループ会社等をご紹介する場合、お客さまからご紹介等にかかるご同意を事前にいただいております。

- 長期的・安定的な資産形成をお客さまにご提案するにあたり、中長期的な資産運用ニーズに適合しないとの判断から、公募による仕組債（デュアル債・リンク債等）の販売を2022年8月より中止しております。なお、私募による組成を希望されるお客さまは、北洋グループ子会社の北洋証券を紹介させていただき、北洋証券でのお取扱いガイドラインに基づき、ニーズに沿った商品をご提供しております。

取組方針3　手数料の分かりやすい説明
取組方針4　重要な情報の分かりやすい提供

金融庁原則4に対応
金融庁原則5および5（注1～5）に対応
金融庁原則6および6（注1～2）に対応

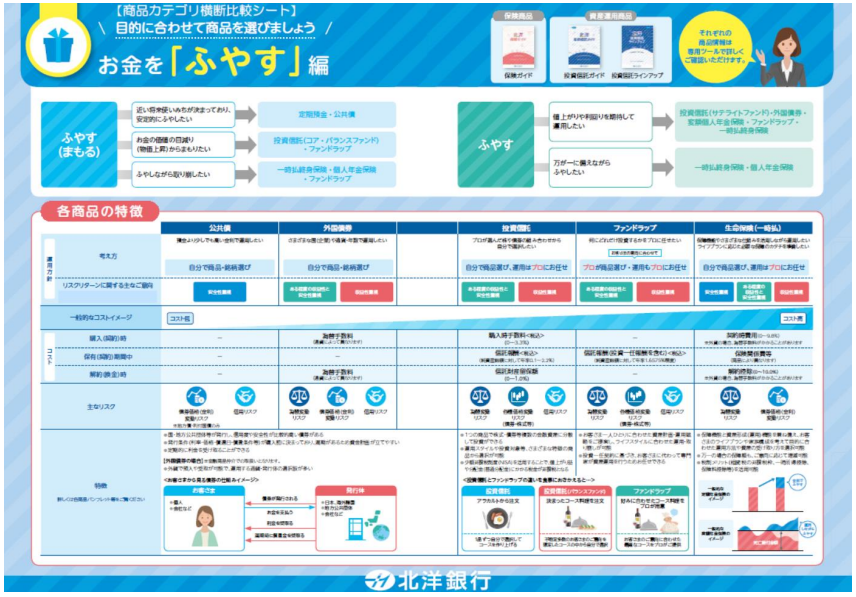
当行が取扱う金融商品の基本情報や取扱商品、ラインアップに対する考え方を「重要情報シート（金融事業者編）」でご案内しております。

また、「商品カテゴリ横断比較シート」を使用し、当行で取扱いしている主な金融商品のカテゴリ別の運用方針・コスト（コストイメージ）、リスク、特徴等を比較してご説明しております。

お客さまのニーズに沿った商品をご提案する際には、商品毎のパンフレットや商品概要書、設計書、契約締結前交付書面（目論見書等）を用いて、商品のリスク・実績・費用等の重要な情報をご説明します。

また 、2022年4月より投資信託、特定保険商品において、お客さまが商品を選ぶ際に商品のリスクや手数料、利益相反等の情報を分かりやすく比較できるようにすることを目的とした「重要情報シート（個別商品編）」の使用しております。

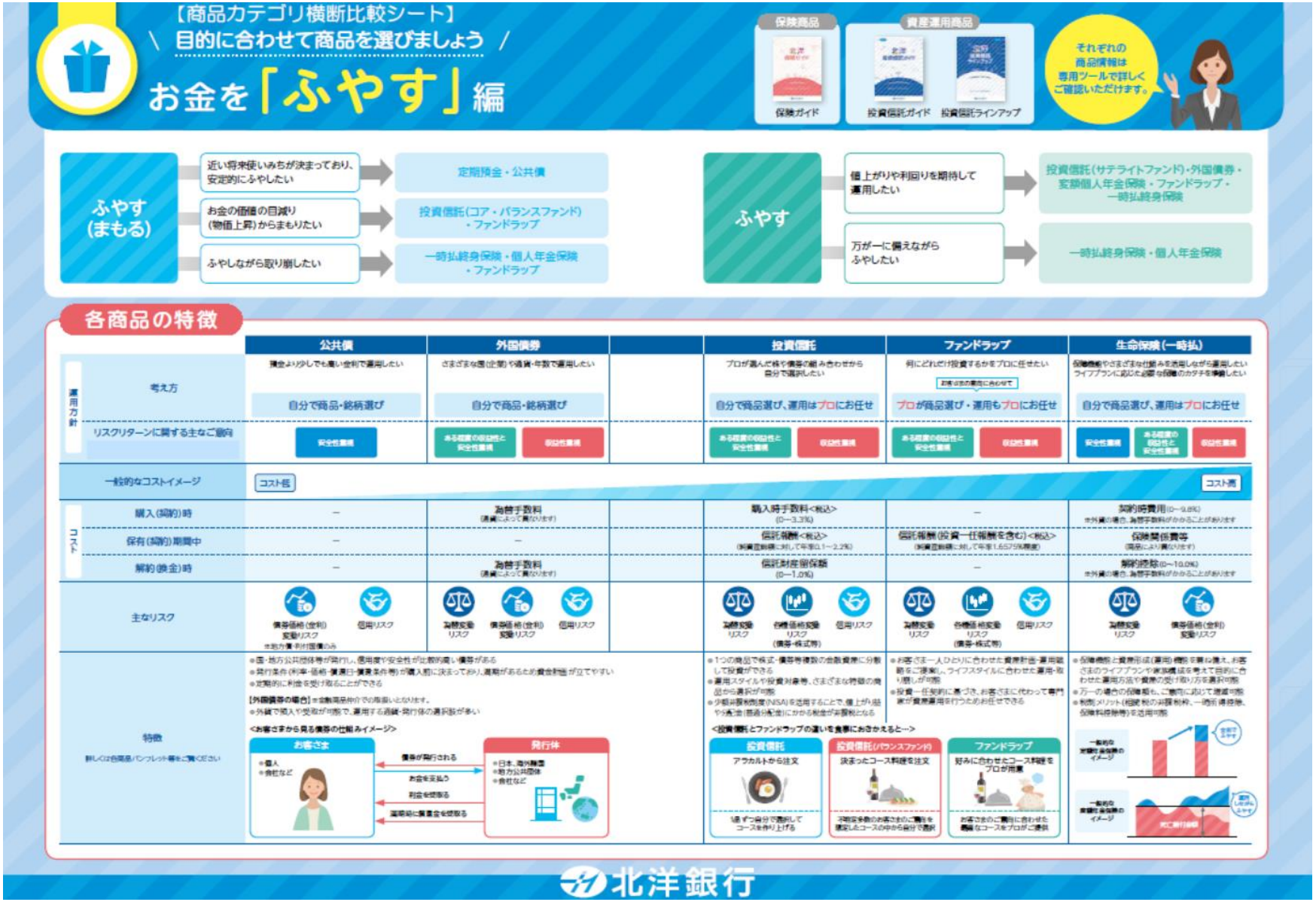
■商品カテゴリ横断比較シート（ライフプランガイドに収録）



■重要情報シート
（金融事業者編）

（個別商品編）

（参考）■商品カテゴリ横断比較シート（詳細P19）　※ライフプランガイドに収録しています



取組方針4　重要な情報の分かりやすい提供

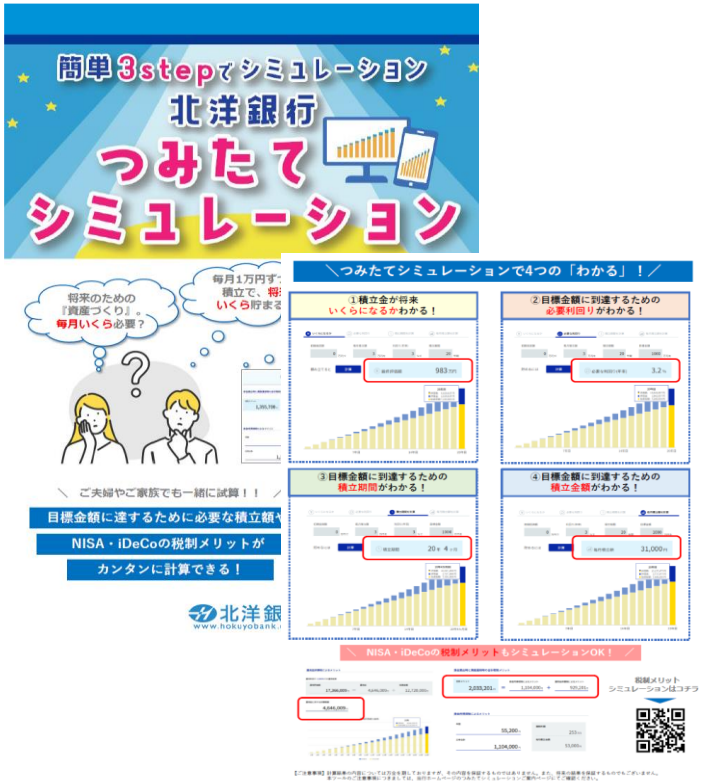
金融庁原則5および5（注4）に対応

ホームページやタブレットツールの活用

投資信託提案タブレットツール「Wealth Advisors（ウェルスアドバイザー）」等を活用し、結婚や住宅購入、退職等の様々なイベントから「ゴールベースアプローチ」に基づく最適なポートフォリオ提案を行っております。また新たに、目標金額のために必要な「利回り」や「積立期間・金額」のシミュレーションや、NISA・iDeCoの税制メリットシミュレーションができる「つみたてシミュレーションツール」を導入いたしました。

■ Wealth Advisors（ウェルスアドバイザー）

■ つみたてシミュレーション



取組方針4　重要な情報の分かりやすい提供

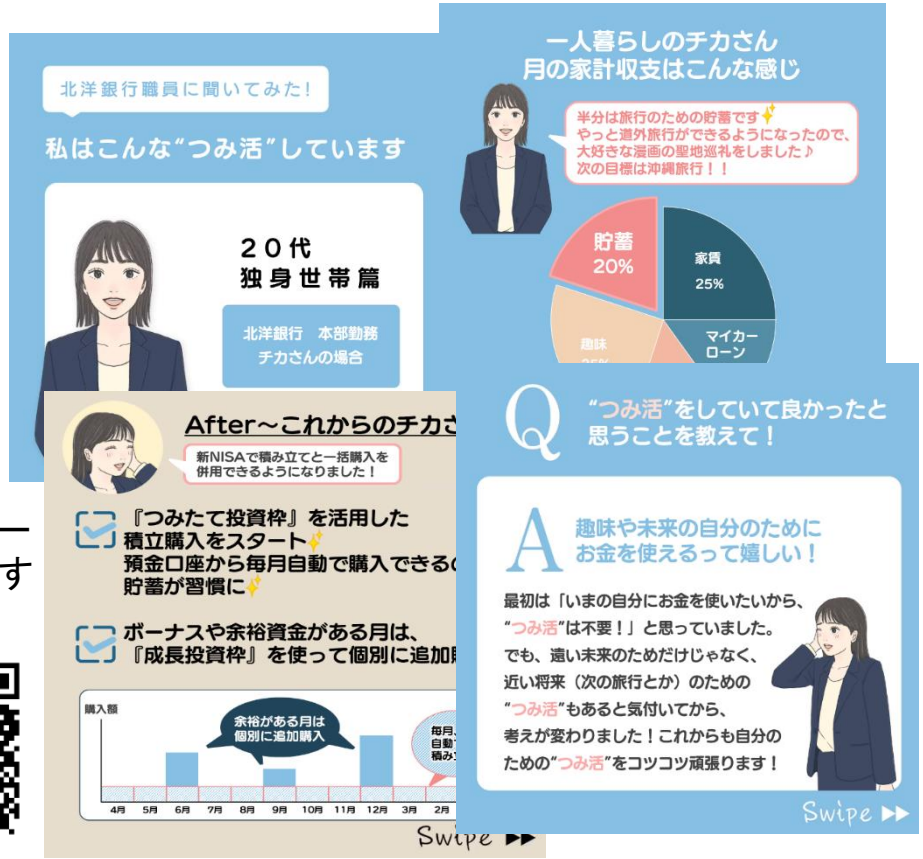
金融庁原則5に対応

SNSによる情報発信

2022年11月よりInstagram公式アカウント「つみ活女子のきんゆう講座by北洋銀行」を開設。
「つみ活女子」が役立つお金の知識や銀行の使い方など、【金融お役立ち情報】を配信しています。
開設以来、約2,100人の方にフォローいただいております。

■Instagram「つみ活女子のきんゆう講座by北洋銀行」

是非フォロー
お願いします
↓



取組方針5　お客さまに寄りそったサービスの提供

金融庁原則6（注4）に対応

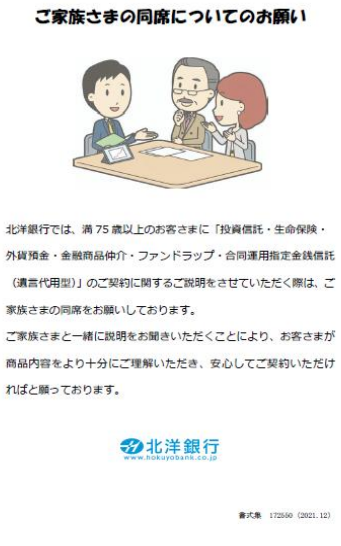
ご高齢のお客さまへの対応

ご高齢のお客さまには、ご家族の同席をお願いするなど、お客さまのニーズや状況等に応じた商品提案を行います。ご家族が遠方にお住まいの場合は、WEB面談も活用してご提案する他、保険商品については、ご家族同席が出来ない場合でもご家族のご理解を深めていただくよう、専用のチラシをご用意しております。

リスクが高い商品に関しては、お客さまにとってふさわしい商品であるか等を慎重に検討し、ご提案を控えさせていただく場合もございます。

また、日本証券業協会のガイドラインに基づき、75歳以上のお客さまについて「継続的な状況把握」（体調面の変化や投資方針の変化等の確認）を実施しております。

■ご家族同席お願いチラシ



ご家族さまの同席についてのお願い

北洋銀行では、満 75 歳以上のお客さまに「投資信託・生命保険・外貨預金・金融商品仲介・ファンドラップ・合同運用指定金銭信託（遺言代用型）」のご契約に関するご説明をさせていただく際は、ご家族さまの同席をお願いしております。

ご家族さまと一緒に説明をお聞きいただくことにより、お客さまが商品内容をより十分にご理解いただき、安心してご契約いただければと願っております。

北洋銀行
www.hokuyobank.co.jp

書式集　172560（2021.12）

■ご家族への保険商品ご案内チラシ

ご家族のみなさまへ

保険商品をご案内させていただく際のお願い

当行では、満 75 才以上のお客さまに保険商品をご案内させていただく際、ご加入いただく保険商品への理解を深めていただくとともに、保険金等請求時の円滑なお手続きのため、ご家族さまのご同席をお願いしております。
ご同席いただけない場合に、ご案内中の保険商品の内容をご家族さまにご理解いただけるよう、本リーフレットをご家族さまへお渡しいただいております。下記アドレスより商品内容等をご確認ください。

【今回ご案内させていただいた保険商品】

商品・愛称	引受保険会社
みらいのみまもり	ニッセイ・ウェルス生命
みらいのみまもり	ニッセイ・ウェルス生命保険株式会社

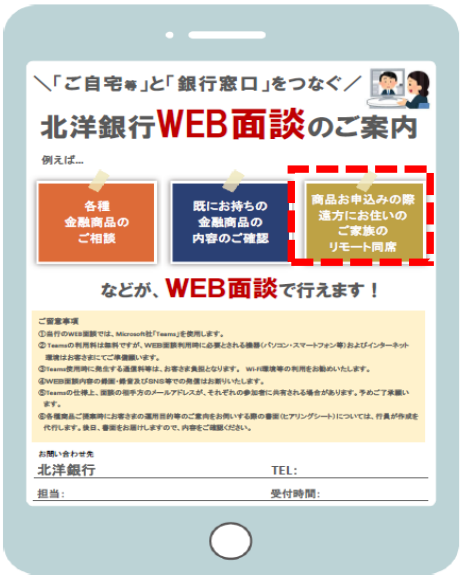
※下記アドレスまたはコードより「ニッセイ・ウェルス生命保険株式会社」の商品ページへ移動すると、「商品パンフレット」「契約締結前交付書面（契約概要/注意喚起情報）」をご覧いただけます。商品内容および リスク・費用に関する事項をご確認ください。

https://www.nw-life.co.jp/product/individual/insurance/mirai_no_mimamori/

（保険商品についてご注意いただきたい事項）
●保険商品は、保険会社が引き受ける生命保険商品です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度は適用されません。●保険商品は、契約初期費用、保険関係費用、資産運用関係費用、解約控除、為替手数料（外貨建て保険）などの手数料がかかる場合があります。●保険商品に関するお客さまと当行とのお取引が、当行におけるお客さまに関する他のお取引に影響を及ぼすことは、一切ありません。●北洋銀行でお取り扱いしている商品はすべてクーリング・オフの対象となります。●引受保険会社が破綻した場合には、生命保険契約者保護機構の保護措置の対象になりますが、この場合にも将来の年金額、死亡保険金額、払戻金額等が削減されることがあります。●募集代理店である北洋銀行では、保険募集を行った保険契約に関して、お客さまからのお問い合わせ・各種請求手続き方法のご照会などを対応いたします。●詳しい内容は、生命保険募集代理店である北洋銀行のこの保険の販売資格を持った担当者（生命保険募集人）にご相談ください。

【特定保険商品に係るリスクについて】
●（変額保険・変額年金保険）この保険は国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や積立金額・将来の年金額などの増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、積立金額、解約返戻金額は既払込保険料を下回ることがあり、損失が生ずるおそれがあります。●（外貨建て保険）この保険は為替レートの変動により、お受取になる円換算後の保険金額などが契約時における円換算後の保険金額を下回ることや、お受取になる円換算後の保険金額が、既払込保険料を下回ることがあり、損失を生ずるおそれがあります。●（MVA（市場価格調整）を利用した商品）この保険は市場金利ならびに運用資産の価格変動が解約返戻金に反映されるため、市場金利の変動により解約返戻金が既払込保険料を下回ることがあり、損失が生ずるおそれがあります。具体的には、中途解約時の市場金利がご契約時と比較して上昇した場合には、解約返戻金は減少し、逆に下落した場合には増加することがあります。

■WEB面談



＼「ご自宅等」と「銀行窓口」をつなぐ／

北洋銀行WEB面談のご案内

例えば…

各種金融商品のご相談

既にお持ちの金融商品の内容のご確認

商品お申込みの際遠方にお住いのご家族のリモート同席

などが、WEB面談で行えます！

ご留意事項
①当行のWEB面談では、Microsoft社「Teams」を使用します。
②Teamsの利用料は無料ですが、WEB面談利用時に必要とされる機器（パソコン・スマートフォン等）およびインターネット環境はお客さまにてご準備願います。
③Teams使用時に発生する通信料等は、お客さま負担となります。 Wi-Fi環境等の利用をお勧めいたします。
④WEB面談内容の録画・録音及びSNS等での発信はお断りいたします。
⑤Teamsの仕様上、面談の相手方のメールアドレスが、それぞれの参加者に共有される場合があります。予めご了承願います。
⑥各種商品ご提案時にお客さまの運用目的等のご案内をお伺いする際の書面（ヒアリングシート）については、行員が作成を代行します。後日、書面をお渡ししますので、内容をご確認ください。

お問い合わせ先
北洋銀行　TEL：
担当：　受付時間：

北洋銀行　2021.1

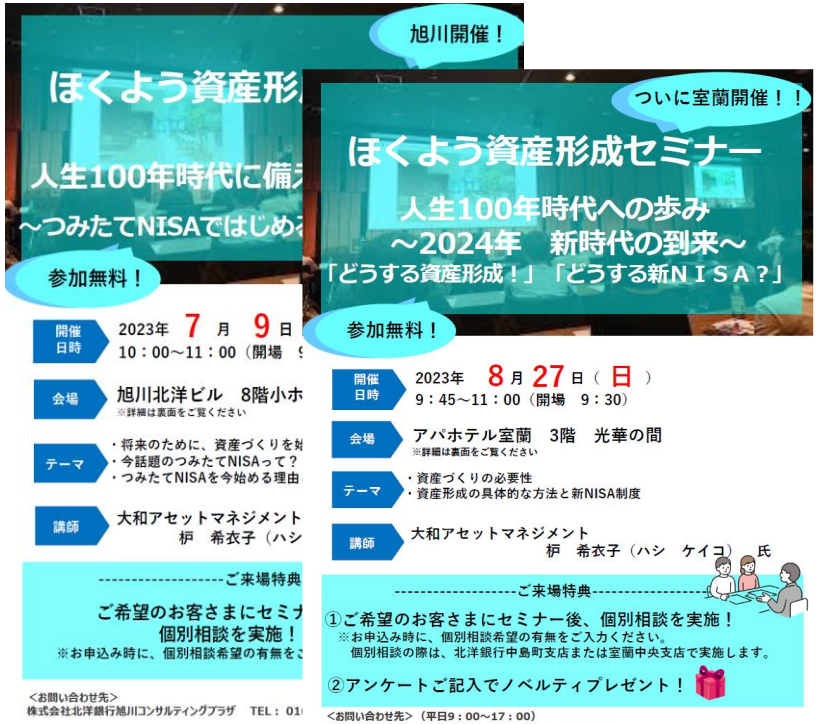
取組方針5　お客さまに寄りそったサービスの提供

金融庁原則5（注3）に対応
金融庁原則6（注5）に対応

KPI指標⑨：お客さま向けセミナー開催状況

新型コロナの5類以降にともない、対面型のセミナーを定期的に開催しました。 旭川、室蘭等札幌以外でも開催し、多くのお客さまにご来場いただきました。
引続き、お客さまセミナーの開催や、各種資産形成フェアへの出展も行ってまいります。
また、営業店によるお取引先を含めたお客さま向けセミナーも随時開催してまいります。

■当行主催対面型セミナー（旭川・室蘭開催）



■資産運用フェアへの出展 （北海道新聞社主催）

取組方針5　お客さまに寄りそったサービスの提供

金融庁原則6（注5）に対応

お取引先の役職員の皆さまへの資産形成サポート

政府による「資産所得倍増プラン」においてもひとつの柱とされている「雇用者に対する資産形成の強化」に向け、お取引先が取り組む役職員様向けの「資産形成の強化」のサポートを行っています。
北洋銀行では＜資産形成サポートプログラム＞として、①座談会（役職員様向けセミナー）の実施、②資産形成の必要性動画の提供、③チラシ・アンケート配布によるニーズ喚起・個別相談などのサポートをさせていただいております。また、企業の福利厚生の一環として「職場つみたてNISA」をご提案しております。

■資産形成サポートプログラム

●●株式会社　　御中

役職員さま向け

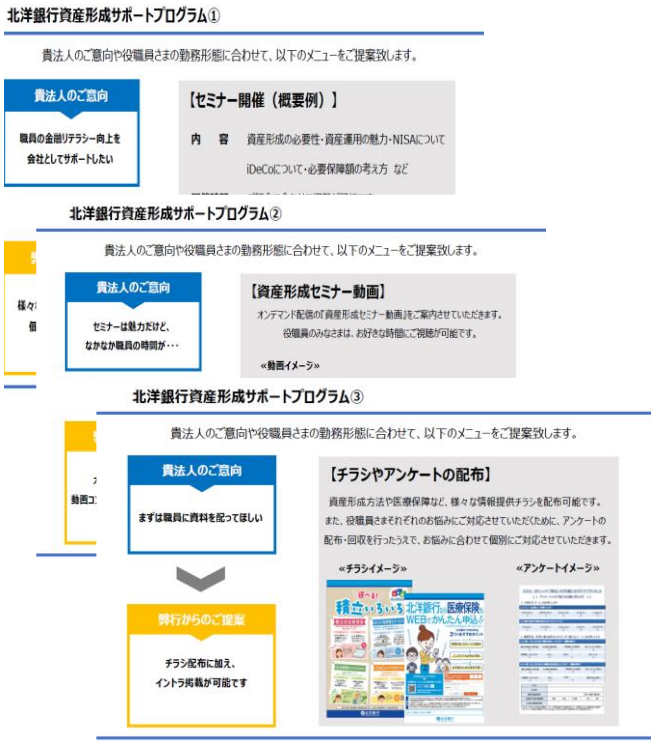
資産形成サポートプログラムのご提案

株式会社北洋銀行 ●●支店
担当：　●●・●●

北洋銀行

＜2023年度＞
お取引先への資産形成
サポートプログラム
ご提案先数　約6,700先

セミナー（少人数座談会含む）
実施先数　　約2,100先



■ほくよう職場つみたてNISA

取組方針5　お客さまに寄りそったサービスの提供

金融庁原則6(注5)に対応

WEBを活用したお取引①

WEBを活用したお取引や情報提供を進めております。2023年10月より投資信託の口座開設がWEBで行えるようになりました。24時間申し込みが可能で、同時にNISA口座も開設出来ます。
iDeCo(個人型確定拠出年金)もWeb手続き、電子申請にて加入や移換の手続きが行えます。
また、パソコンやスマホから資産運用に関するカタログをご覧いただくことが出来ます。

■投資信託WEB口座開設(2023年10月～)

■iDeCoWeb手続き

■WEBカタログ

取組方針5　お客さまに寄りそったサービスの提供

金融庁原則6(注5)に対応

WEBを活用したお取引②

2023年1月よりオンライン金融商品仲介を開始しております。
北洋銀行がオンライン証券(大和コネクト証券、SBI証券)の委託を受け、インターネット(北洋銀行ホームページ)を介して証券口座の開設を仲介します。
口座開設、その後のお取引(株式・投資信託等)ともインターネットのみでのお取り扱いとなりますので、いつでもどこでもお手続きが可能です。

■オンライン金融商品仲介

取組方針5　お客さまに寄りそったサービスの提供

金融庁原則6および6（注5）に対応

ロールプレイングによるコンサルティングスキル向上

お客さまのライフステージに応じた情報提供を行い、一人ひとりのお客さまの潜在ニーズを顕在化させ、ニーズに基づいた解決策をご提案するため、営業店においてロールプレイングを実施しコンサルティングスキルの向上に努めております。

お客さま会議（P17）と連動し、お客さま会議にて検討した内容のロールプレイングを実施。また、世代別のライフプランに合わせたニーズを喚起するためのロールプレイングを実施し、お客さまへ最善のご提案を行えるようにしております。

【営業店におけるロールプレイングの実施回数】（2023/4～2024/3）

215回

＜主な実施テーマ＞

- お客さま会議（P15）実施内容
- 現役世代への資産形成層ニーズ喚起
- 現役世代への保障ニーズ喚起
- セカンドライフ世代への資産寿命延伸ニーズ喚起
- 高齢者層（70代～）への資産承継ニーズ喚起

取組方針5　お客さまに寄りそったサービスの提供

金融庁原則6および6（注1）に対応

フォローアップの実施

（1）投資信託

営業店による販売後のフォローアップに加え、お電話にてフォローアップを行う専門部署（資産運用サポートデスク）を設置しております（2024/3末現在9名）。

投資信託を保有されているお客さまに、お預かりしている資産の近況報告に加え、お客さまの投資に関するお考えに変化がないかお聞きし、金融商品やお取引に関する情報提供を継続的に行います。

ご不在のお客さまには、保有商品の運用レポートをホームページから確認する方法をハガキにてご案内しております。

（2）外貨建保険・変額保険

年1回外貨建一時払保険、変額保険のご契約者さまへのフォローを実施しています。

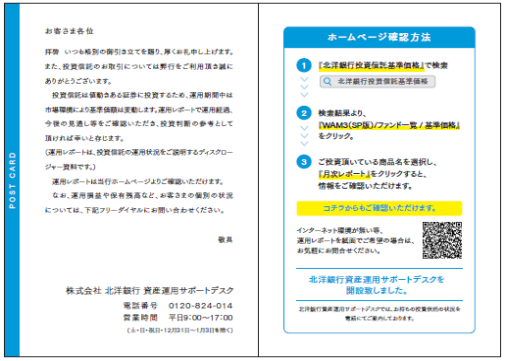
ご契約内容の確認のほか、外貨建一時払保険において「目標設定機能」を利用されているお客さまには、目標値の見直しの必要性がないかご意向の確認をしております。

【資産運用サポートデスクにおける架電回数】
（2023/4～2024/3）

約63,400回

※のべ架電回数・不在先を含む

■ご不在時ご案内ハガキ



取組方針6　お客さま本位を実践するための体制構築

金融庁原則7および7(注)に対応

研修体系およびコンサルティングライセンス制度

職員向けの研修において、FD（フィデューシャリー・デューティー）方針の定着を目的としたカリキュラムを実施しております。

また、金融商品を単独で販売するための行内資格「コンサルティングライセンス制度」により、FDの浸透をはじめ、金融商品販売時に求められる知識やスキルレベルの統一化を図るとともに、ロールプレイングを実施することで、コンサルティングスキルの向上に努めております（詳細P28）。

経営理念の定着と評価体系

2020年4月に策定した経営理念（※1）の定着に向けた取組みとして、行内会議におけるディスカッションやガイド・行内誌による好事例の共有、定量的な自主目標（具体的行動）の作成と実践、定期的な職員向けアンケートなどを実施しております。

また、経営理念や行動規範（※2）の実現に向けた取組内容やお客さまの声（アンケート結果）など、定性面の評価により「模範となる取組をしている営業店」を表彰する評価体系としております。

※1　＜北洋銀行グループ経営理念＞
お客さま本位を徹底し、多様な課題の解決に取り組み、北海道の明日（あす）をきりひらく

※2　＜行動規範＞
①コンプライアンス・社会的責任を常に意識し、誠実に向き合う
②お客さまからの、「ありがとう」を追求する
③職員一人ひとりを尊重し、チームワークを最大化する
④変化を恐れず、自ら考え挑戦する

取組方針6　お客さま本位を実践するための体制構築

金融庁原則7に対応

「Ｒ＆I顧客本位の金融販売会社評価」

当行は、（株）格付投資情報センター（Ｒ＆I）による「顧客本位の金融販売会社評価（※）」（以下、本評価）において、「S+」の評価を取得しております。
前回2022年12月評価「S+」を維持しました。
本評価は、金融商品の販売において、銀行や証券会社などがいかに「顧客本位の業務運営」を行っているか、その取組方針や取組状況を（株）格付投資情報センター（Ｒ＆I）が中立的な第三者の立場から評価するものです。

当行においては、お客さまのニーズや商品のカテゴリー・パフォーマンス等を勘案した商品ラインアップの見直しや、提案ツール（パンフレット・タブレット等）の活用、アフターフォロー体制の充実など、経営理念に掲げる「お客さま本位の徹底」の浸透に向けた取り組みが評価されました。

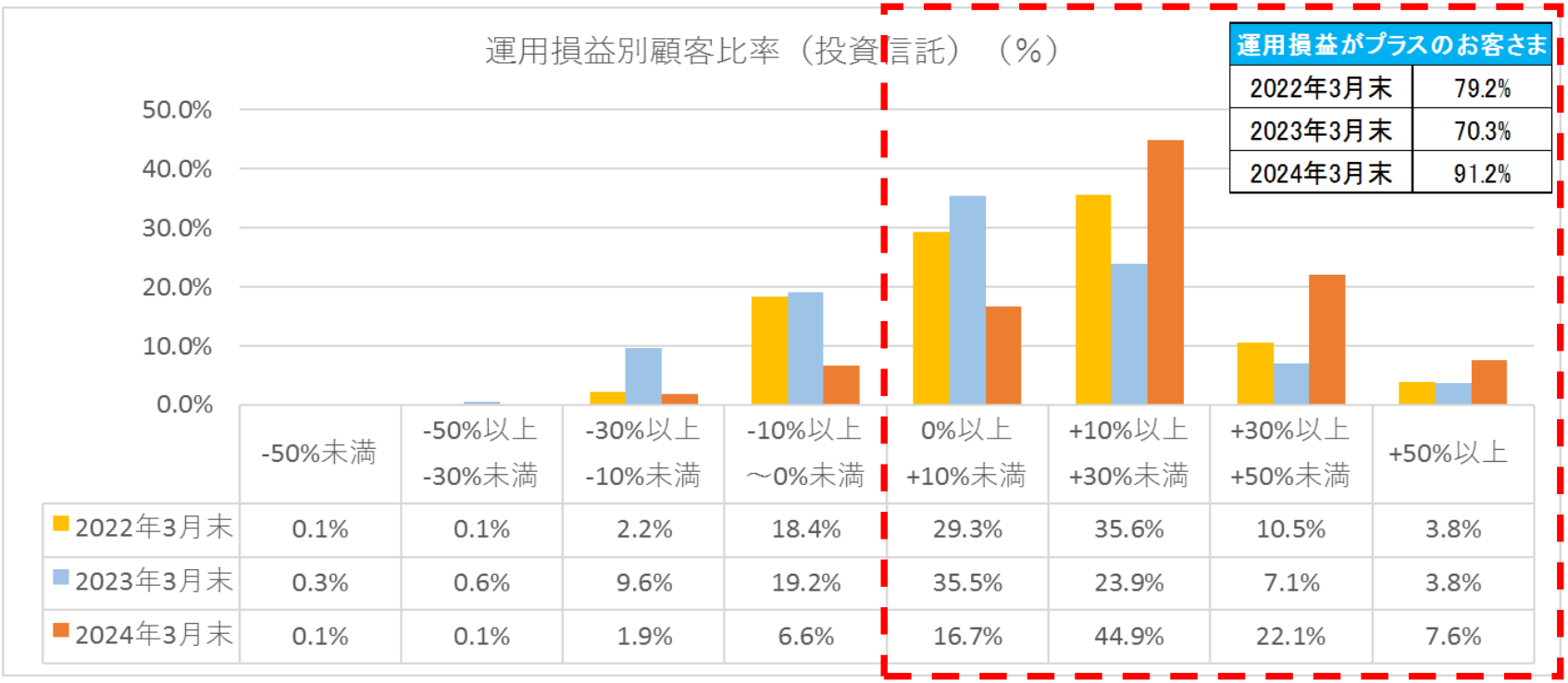
引き続き、『「安定的な資産形成・資産承継を実現するための取組方針」～「お客さま本位」（フィデューシャリー・デューティー）の徹底～』に基づく「行動計画」および「具体的取組」を実践し、お客さまにとって真に喜んでいただけるよう、より良い提案・行動に努めてまいります。

※R&I 顧客本位の金融販売会社評価は、投信販売業務を行う金融事業者の「顧客本位の業務運営」に関するR&I の意見であり、事実の表明ではありません。十分信頼できると判断される情報源からの情報に基づき評価を実施していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。この評価情報の利用によって何らかの損害が発生した場合、その原因がいかなるものであれ、R&I は一切の責任を負わないものとします。R&I 顧客本位の金融販売会社評価はR&I 投信定性評価・定量評価レーティングとはそれぞれ独立のものであり、互いの評価に影響を与えるものではありません。R&I 顧客本位の金融販売会社評価の業務は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。

投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI

共通KPI指標①：投信信託における運用損益別顧客比率

2023年度は世界的な株高となり、株式ファンドを保有されているお客さまや保有期間が1年未満のお客さまの損益がプラスとなったことから、全体の損益がプラスのお客さまの割合は2024年3月末時点で91.2%と前年比+20.9ポイントとなりました。



運用損益がプラスのお客さま	
2022年3月末	79.2%
2023年3月末	70.3%
2024年3月末	91.2%

	-50%未満	-50%以上 -30%未満	-30%以上 -10%未満	-10%以上 ～0%未満	0%以上 +10%未満	+10%以上 +30%未満	+30%以上 +50%未満	+50%以上
2022年3月末	0.1%	0.1%	2.2%	18.4%	29.3%	35.6%	10.5%	3.8%
2023年3月末	0.3%	0.6%	9.6%	19.2%	35.5%	23.9%	7.1%	3.8%
2024年3月末	0.1%	0.1%	1.9%	6.6%	16.7%	44.9%	22.1%	7.6%

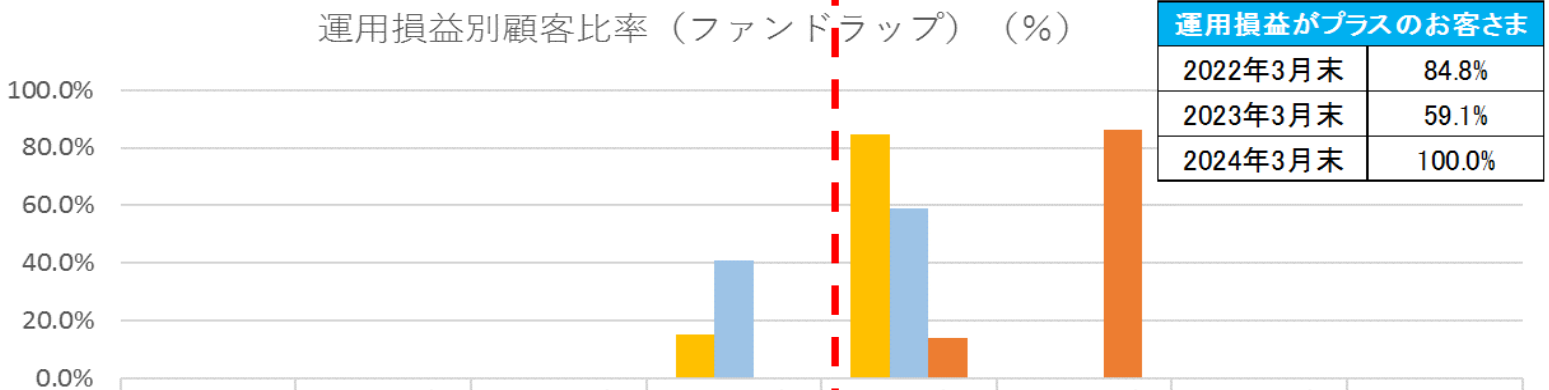
＜運用損益の算出方法＞
【分子】 基準日時点の「評価金額＋累計受取分配金（税引後）＋累計売付金額―累計買付金額（含む消費税込の販売手数料）」
基準日時点までに全部売却・償還された銘柄は対象外
【分母】 基準日時点の評価金額
【遡及期間】 当該銘柄の購入当初まで遡及
【対象口座数】 2022年3月末73,580口座、2023年3月末75,422口座、2024年3月末78,760口座

投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI

共通KPI指標①：ファンドラップにおける運用損益別顧客比率

北洋証券を通じた金融仲介商品「北洋証券ファンドラップ ON COMPASS+」※の2024年3月末時点での運用損益プラスのお客さまは100%（前年比+40.9ポイント）となりました。世界的な相場上昇によりすべてのお客さまがプラスとなっております。ご契約者様の約7割が10年以上の長期契約となっており、引き続きライフプランに合わせたフォローを行ってまいります。

※マネックス・アセットマネジメントが投資一任運用サービス「ON COMPASS+」を提供、当行が対面によるサービス案内、北洋証券が証券総合口座上でお客さまの資産管理を行います。



運用損益がプラスのお客さま	
2022年3月末	84.8%
2023年3月末	59.1%
2024年3月末	100.0%

	-50%未満	-50%以上 -30%未満	-30%以上 -10%未満	-10%以上 ～0%未満	0%以上 +10%未満	+10%以上 +30%未満	+30%以上 +50%未満	+50%以上
2022年3月末	0.0%	0.0%	0.0%	15.2%	84.8%	0.0%	0.0%	0.0%
2023年3月末	0.0%	0.0%	0.0%	40.9%	59.1%	0.0%	0.0%	0.0%
2024年3月末	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.9%	86.1%	0.0%	0.0%

＜運用損益の算出方法＞
【分子】 基準日時点の「評価金額※＋累計払戻金額―累計払込金額 ※投資一任報酬等の期中費用控除後の金額
【分母】 基準日時点の評価金額※ ※投資一任報酬等の期中費用控除後の金額
【遡及期間】 取引開始日まで遡及
【対象口座数】 2022年3月末65口座、2023年3月末428口座、2024年3月末741口座

投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI

共通KPI指標②③：投信信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン

残高上位の株式ファンドのリターン大幅上昇にともない、残高上位20銘柄全体のリターンは前年比6.09ポイントの上昇しました。一方リスクは前年比1.32ポイントの上昇に留まりました。ノーロードファンドの追加等によりコストは前年比0.12ポイント低下しました、

＜投資信託預り残高上位20銘柄（2024年3月末）＞

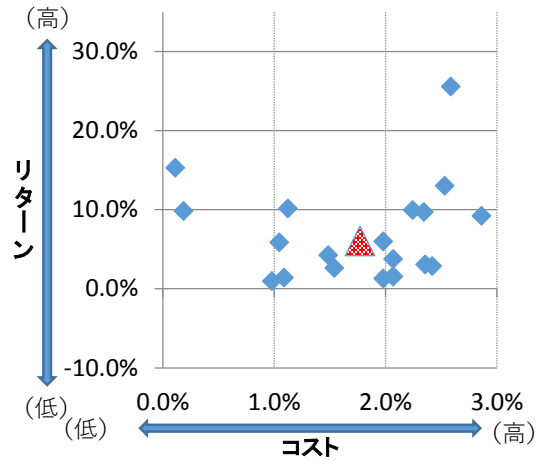
	銘柄名	コスト	リスク	リターン
①	新光US－REITオープン	2.34%	18.42%	7.66%
②	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型【愛称：財産3分法】	1.49%	9.28%	5.94%
③	リスク抑制世界8資産バランスファンド	0.98%	3.65%	−0.21%
④	たわらノーロード 先進国株式	0.10%	17.20%	19.90%
⑤	投資のソムリエ	1.98%	3.95%	−0.58%
⑥	たわらノーロード 日経225	0.14%	17.03%	15.75%
⑦	株式インデックス225	1.12%	17.00%	15.22%
⑧	MHAM J-REIT インデックスファンド 毎月決算型	1.05%	15.12%	2.16%
⑨	iFree S&P500インデックス	0.22%	17.20%	22.05%
⑩	たわらノーロード バランス(8資産均等型)	0.14%	10.00%	8.12%
⑪	ニッセイJPX日経400アクティブファンド	2.24%	16.44%	15.57%
⑫	北海道未来の夢創生ファンド【愛称：北の夢切符】	1.54%	13.95%	11.13%
⑬	netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース（為替ヘッジなし）	2.75%	21.20%	23.20%
⑭	グローバルAIファンド	2.59%	27.67%	22.74%
⑮	野村PIMCO・世界インカム戦略ファンド Aコース	2.07%	6.51%	−1.10%
⑯	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	2.42%	17.24%	5.26%
⑰	HSBC インド オープン	2.86%	22.42%	16.23%
⑱	野村ターゲットインカムファンド（年3%目標分配型）	1.46%	9.48%	−1.17%
⑲	ノルディック社債ファンド　為替ヘッジあり	2.36%	8.33%	2.39%
⑳	ニッセイSDGsグローバルセレクトファンド（資産成長型・為替ヘッジなし）	2.24%	17.43%	15.41%
	加重平均	1.51%	14.10%	9.82%

＜コスト・リターン、リスク・リターンの算出方法＞
【対象ファンド】 2024年3月末時点で設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄
【コスト】 当行販売手数料率上限の1/5と信託報酬の合計値
【リスク】 過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
【リターン】 過去5年間のトータルリターン（年換算）
※上記の数値等は過去の実績であり、将来のコスト・リスク・リターンをお約束するものではありません。

投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI

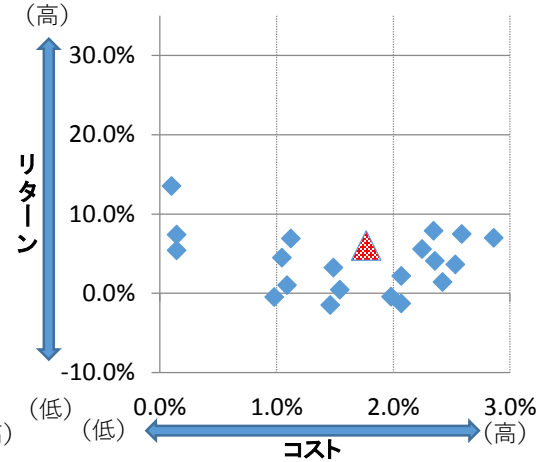
共通KPI指標②：投信信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

2022年3月末



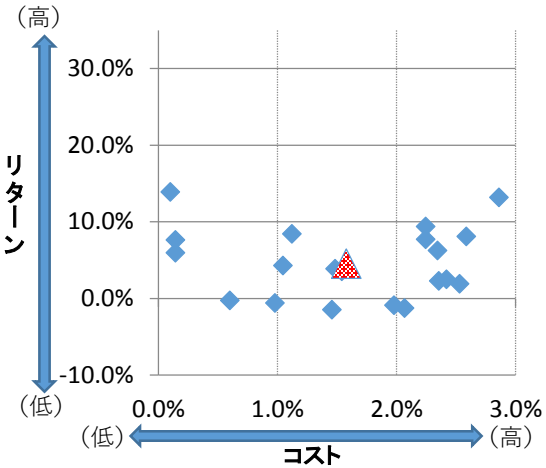
残高加重平均値	コスト	リターン
	1.77%	6.02%

2023年3月末



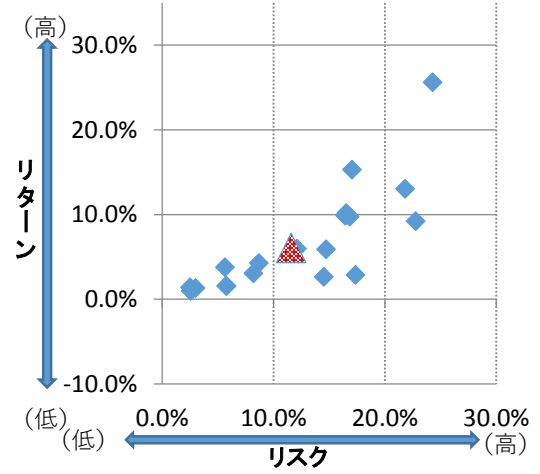
残高加重平均値	コスト	リターン
	1.63%	3.73%

2024年3月末

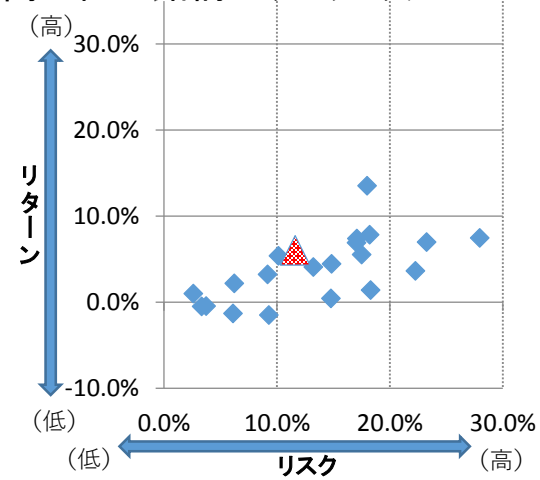


残高加重平均値	コスト	リターン
	1.51%	9.82%

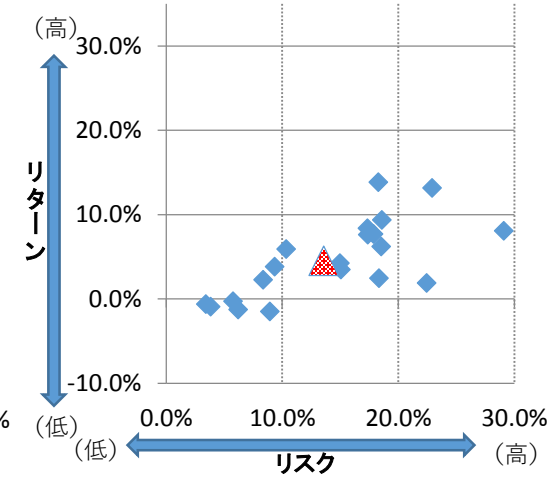
共通KPI指標③：投信信託の預り残高上位20銘柄のリスク・リターン



残高加重平均値	リスク	リターン
	11.61%	6.02%



残高加重平均値	リスク	リターン
	12.78%	3.73%



残高加重平均値	リスク	リターン
	14.10%	9.82%

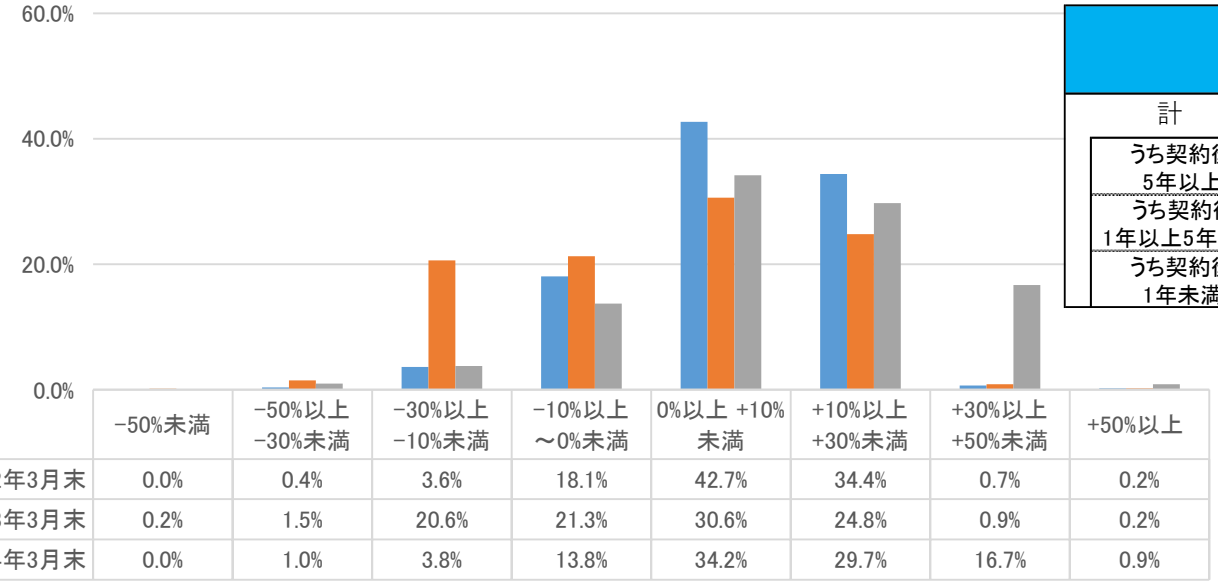
投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI

共通KPI指標④：外貨建保険おける運用損益別顧客比率

2024年3月末時点では**運用損益プラスのお客さまは81.5%**（2023年3月末比+25%）となりました。

※1　外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合が多くあります（2024年3月末時点、契約後1年未満の契約のうち運用損益マイナスの割合は44.3%）。

※2　解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。また、商品によっては、据置期間中の解約返戻金を抑制する等の機能もありますので、据置期間経過後の評価とは異なります。



	−50%未満	−50%以上 −30%未満	−30%以上 −10%未満	−10%以上 ～0%未満	0%以上 +10% 未満	+10%以上 +30%未満	+30%以上 +50%未満	+50%以上
2022年3月末	0.0%	0.4%	3.6%	18.1%	42.7%	34.4%	0.7%	0.2%
2023年3月末	0.2%	1.5%	20.6%	21.3%	30.6%	24.8%	0.9%	0.2%
2024年3月末	0.0%	1.0%	3.8%	13.8%	34.2%	29.7%	16.7%	0.9%

	運用損益別顧客比率		
	マイナス	プラス	計
計	18.5%	**81.5%**	100.0%
うち契約後5年以上	5.4%	**94.6%**	100.0%
うち契約後1年以上5年未満	21.4%	**78.6%**	100.0%
うち契約後1年未満	44.3%	**55.7%**	100.0%

＜運用損益の算出方法＞
【分子】・（基準日時点の解約返戻金額＋基準日時点の既支払金額）－契約時点の一時払保険料（いずれも円換算）
【分母】・契約時点の一時払保険料（円換算）
【対象契約】・基準日時点で個人のお客さまが保有している外貨建一時払保険（外貨建医療保険、外貨建平準払保険、介護保障や特定疾病保障等、生前給付の保障が組み込まれている商品、基準日時点で解約済みの契約、年金の支払いが開始している年金契約（据置期間の契約も含む）を除く）
【保有契約数】2024年3月末時点　19,718契約（2023年3月末比+236）

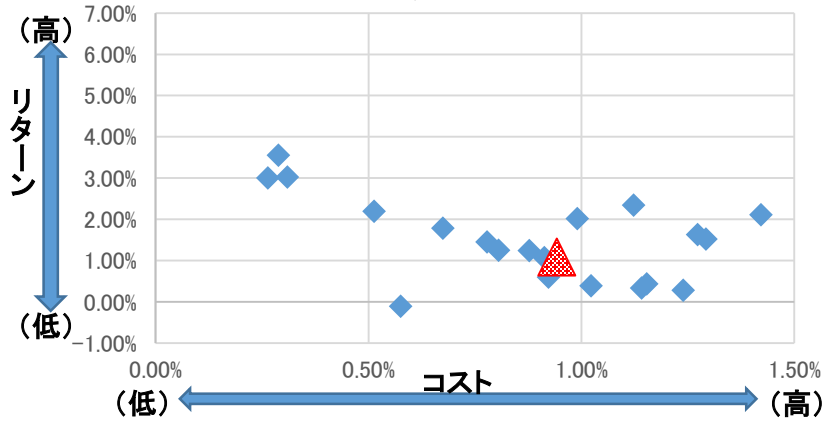
投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI

共通KPI指標⑤：外貨建保険残高※上位20銘柄のコスト・リターン

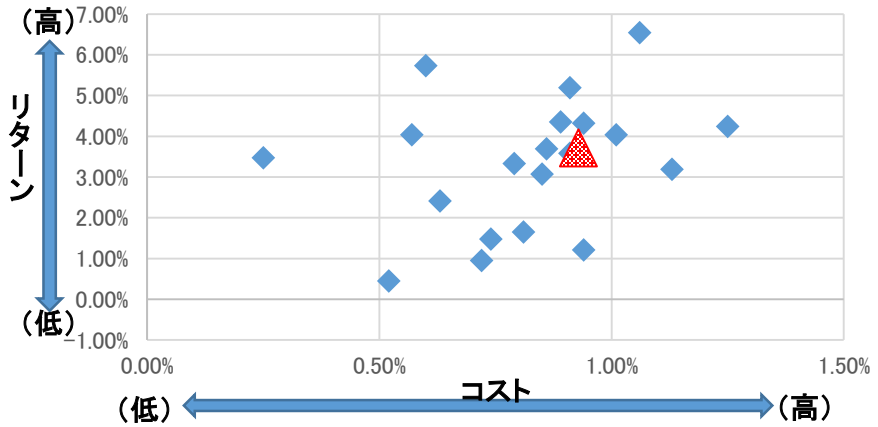
2024年3月末時点での残高上位20銘柄のコスト・リターンは**コスト0.93%**（2023年3月末比▲0.03%）に対して**リターン3.71%**（同比+2.62%）となりました。

※外貨建保険残高：各年3月末時点の解約返戻金額（円換算）＋同時点の既支払金累計額 の合計

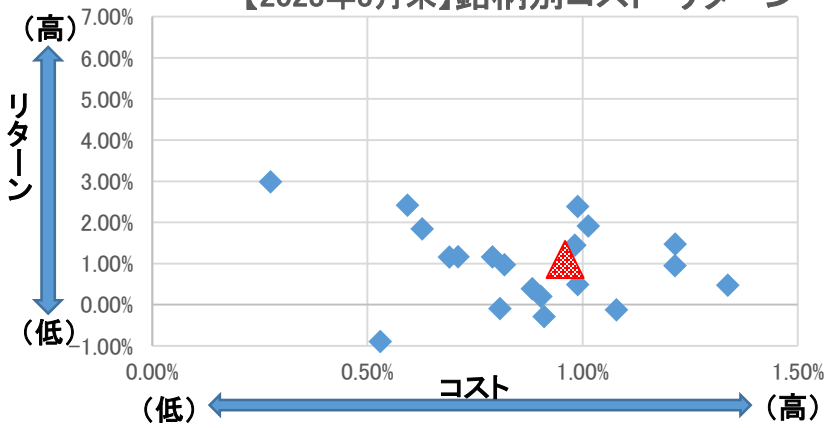
【2022年3月末】銘柄別コスト・リターン



【2024年3月末】銘柄別コスト・リターン



【2023年3月末】銘柄別コスト・リターン



加重平均	コスト	リターン
2022年3月末	0.94%	1.08%
2023年3月末	0.96%	1.09%
2024年3月末	0.93%	3.71%

＜コスト・リターンの算出方法＞
【対象銘柄】基準日時点で契約後5年以上の外貨建保険残高上位20銘柄
【コスト】　保険会社が支払う代理店手数料（新契約手数料率と年間の継続手数料率）を使用し、各契約の契約時点の一時払保険料（円換算）で加重平均して算出。
【リターン】（解約返戻金額＋既支払金額－契約時点の一時払保険料）÷（契約時点の一時払保険料）を年率に換算し、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均して算出（いずれも円換算）

投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPI

共通KPI指標⑤：外貨建保険残高※上位20銘柄のコスト・リターン

※外貨建保険残高：各年3月末時点の
解約返戻金額（円換算）＋同時点の既支払金累計額 の合計

＜外貨建保険残高上位20銘柄（2022年3月末）＞

	銘柄名	コスト	リターン
①	プレミアレシーブ（外貨建）	0.78%	1.45%
②	しあわせ、ずっと	0.91%	1.07%
③	プレミアジャンプ	1.02%	0.39%
④	プレミアジャンプ・年金（外貨建）	1.15%	0.43%
⑤	未来につなげる終身保険	1.29%	1.52%
⑥	ロングドリームGOLD	0.88%	1.24%
⑦	サニーガーデンEX	0.99%	2.02%
⑧	えがお、ひろがる	1.24%	0.28%
⑨	ビーウィズユー	0.81%	1.25%
⑩	生涯プレミアムワールド3	0.92%	0.60%
⑪	やさしさ、つなぐ	0.58%	−0.11%
⑫	モンターニュ	0.29%	3.55%
⑬	ロングドリームプラス	0.67%	1.78%
⑭	プレミアジャンプ2・年金（外貨建）	1.27%	1.63%
⑮	しあわせ、ずっとNZ	1.14%	0.33%
⑯	デュアルドリーム	1.42%	2.11%
⑰	プレミアカレンシー・プラス	0.51%	2.19%
⑱	ダブルアカウントグローバル	1.12%	2.34%
⑲	モンターニュ2	0.26%	3.00%
⑳	ロングドリーム	0.31%	3.02%
	加重平均	**0.94%**	**1.08%**

＜外貨建保険残高上位20銘柄（2023年3月末）＞

	銘柄名	コスト	リターン
①	外貨建・エブリバディプラス	1.22%	1.47%
②	プレミアレシーブ（外貨建）	0.71%	1.17%
③	しあわせ、ずっと	0.82%	0.97%
④	サニーガーデンEX	0.98%	1.45%
⑤	やさしさ、つなぐ	0.53%	−0.89%
⑥	未来につなげる終身保険	1.21%	0.95%
⑦	プレミアジャンプ	0.90%	0.21%
⑧	ふるはーとJロードグローバル	0.99%	2.39%
⑨	ロングドリームGOLD	0.79%	1.16%
⑩	プレミアジャンプ・年金（外貨建）	0.99%	0.49%
⑪	えがお、ひろがる	1.08%	−0.12%
⑫	生涯プレミアムワールド4	0.88%	0.39%
⑬	ビーウィズユー	0.69%	1.16%
⑭	生涯プレミアムワールド3	0.81%	−0.09%
⑮	夢のプレゼント	0.63%	1.85%
⑯	プレミアカレンシー・プラス2	1.01%	1.92%
⑰	ロングドリームプラス	0.59%	2.42%
⑱	モンターニュ	0.27%	2.99%
⑲	デュアルドリーム	0.91%	−0.28%
⑳	プレミアジャンプ3・年金（外貨建）	1.34%	0.48%
	加重平均	**0.96%**	**1.09%**

＜外貨建保険残高上位20銘柄（2024年3月末）＞

	銘柄名	コスト	リターン
①	外貨建・エブリバディプラス	1.01%	4.03%
②	サニーガーデンEX	0.94%	4.32%
③	しあわせ、ずっと	0.74%	1.48%
④	やさしさ、つなぐ	0.52%	0.45%
⑤	プレミアレシーブ（外貨建）	0.91%	5.19%
⑥	未来につなげる終身保険	1.13%	3.19%
⑦	プレミアプレゼント	0.89%	4.35%
⑧	ロングドリームGOLD2	1.06%	6.54%
⑨	夢のプレゼント	0.60%	5.73%
⑩	ふるはーとJロードグローバル	0.86%	3.69%
⑪	生涯プレミアムワールド4	0.81%	1.65%
⑫	プレミアカレンシー・プラス2	0.91%	3.58%
⑬	ビーウィズユー	0.63%	2.41%
⑭	えがお、ひろがる	0.94%	1.21%
⑮	プレミアストーリー2	0.85%	3.07%
⑯	生涯プレミアムワールド3	0.72%	0.95%
⑰	ロングドリームGOLD	0.79%	3.33%
⑱	あしたの、よろこび	1.25%	4.24%
⑲	ロングドリームプラス	0.57%	4.04%
⑳	モンターニュ	0.25%	3.47%
	加重平均	**0.93%**	**3.71%**

＜コスト・リターンの算出方法＞

【対象銘柄】基準日時点で契約後5年以上の外貨建保険残高上位20銘柄

【コスト】　保険会社が支払う代理店手数料（新契約手数料率と年間の継続手数料率）を使用し、各契約の契約時点の一時払保険料（円換算）で加重平均して算出。

【リターン】（解約返戻金額＋既支払金額－契約時点の一時払保険料）÷（契約時点の一時払保険料）を年率に換算し、各契約の契約時点の一時払保険料で加重平均して算出（いずれも円換算）